

平成 27 年広島県産業連関表経済波及効果分析ツール 使用方法

1 準備作業

(1) 「利用上の注意」の確認

平成 27 年広島県産業連関表経済波及効果分析ツールを利用して正しい分析結果を作成するために、最低限必要となる事項をまとめたものです。利用前に必ずお読みください。

(2) 分析シートの選択

次の 4 種類の分析シートから選択します。

「①需要拡大による波及効果シート」

本分析ツールの標準シートです。

分析対象は、県内の消費、投資等の需要増加がもたらす県内への経済波及効果（例：自動車の最終需要など）です。

最終需要増加額として、「県内産・県外産の区分不明（購入者価格）」、「県内産の需要のみ（購入者価格）」、「県内産の需要のみ（生産者価格）」の 3 種類の入力区分に数値を入力することで、最終需要増加がもたらす経済波及効果を試算できます。

「②企業誘致による波及効果シート」

上記「①需要拡大による波及効果シート」に、企業の生産増加額の入力枠を追加したシートです。

分析対象は、県内の企業等が機械等の設備投資を行い、生産が増加した場合（新たに操業した場合）の県内への経済波及効果です。

誘致企業が初期投資を行い（＝最終需要増加額）、操業を開始した場合の経済波及効果を試算できます。

「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）シート」

分析対象は、県内の観光、イベント等の需要増加がもたらす県内への経済波及効果です。

上記「①需要拡大による波及効果シート」と同様に、観光消費額＝需要増加額を入力し試算するためのツールですが、それぞれの産業区分に合った品目を例示し、正しく入力できるようにしています。また、産業区分の情報が把握できない場合でも、全体消費額のみ分かるケースや人数のみ分かるケースに対応できるよう、消費品目の全国平均値を基に按分を行い、入力数値を推計できるシートを用意しています。

「④大規模建設プロジェクトによる波及効果シート」

分析対象は、県内で公共事業等の建設投資が行われた場合の経済波及効果です。

建設事業の種類に応じて原材料投入額を算出し、それらを最終需要額の各産業区分に投入することによって、各種建設事業や公共事業の種類別の経済波及効果を試算できます。

2 分析シートの構成

分析シートは、以下のワークシートから構成されています。

分析は、「入力シート」に入力すると、結果が「総括表」、「フロー図」、「各詳細表（1次効果、2次効果、総合効果）」に試算されます。

（1）入力シート

分析タイトル、最終需要増加額内訳、消費転換率、表示単位及び分析事項のメモ欄（省略可）の各入力項目について入力するためのシート

（2）観光消費支出額推計シート ※「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）シート」のみ

産業部門別の消費支出額（＝需要増加額）の把握が困難な場合に、全国平均値に基づく按分・積上げ手法により需要額を推計するためのシート（①宿泊費、土産代など6つに分けた消費支出額、②全体の消費支出額、③来場者数 のいずれかを入力して計算する。）

（3）総括表

分析結果の概要をまとめたシート

（4）フロー図

経済波及の流れ及び波及効果の算出に用いた数式を確認できるシート

（5）詳細表（1次効果）

直接効果及び間接1次波及効果までの計算結果を産業部門別にまとめたシート

(6) 詳細表 (2次効果)

直接効果と間接1次波及効果の合算から間接2次波及効果までの計算結果を産業部門別にまとめたシート

(7) 詳細表 (総合効果)

直接効果, 間接1次波及効果及び間接2次波及効果を合算したシート

(8) 各種係数

計算の過程で使用する「商業マージン率」, 「運輸マージン率」, 「県内自給率」, 「就業係数」, 「雇用係数」, 「粗付加価値率」, 「雇用者所得率」, 「民間消費支出構成比」の各種係数をまとめたシート

(9) 投入係数

投入係数行列

(10) 逆行列 (IM)

開放型逆行列係数行列 ($[I-(I-M)A]^{-1}$ 型)

(11) 逆行列 (IM外生化) ※「②企業誘致による波及効果シート」のみ

外生化した開放型逆行列係数行列 ($[I-(I-M)A]^{-1}$ 型)

(12) 建設係数 ※「④大規模建設プロジェクトによる波及効果シート」のみ

平成27年(2015年)建設部門分析用産業連関表(国土交通省)の一般分類建設部門投入係数表

3 「①需要拡大による波及効果シート」分析作業手順

(1) 入力作業

「入力シート」に必要事項を入力します。(【図1】「①需要拡大による波及効果シート」の「入力シート」参照)

ア 分析タイトルを入力します。

イ 下の赤枠の中に、産業部門ごとの需要増加額を数値で入力します。

入力の際には、次の3パターンの中から選択し、該当する列に入力します。

a 県内産・県外産の区分が不明な場合（購入者価格）

（需要の増加に対して新たに供給される財・サービスが広島県内産か県外産か分からない場合で、店舗の販売価格で積算した場合）

b 県内産の需要のみの場合（購入者価格）

（需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれる場合で、店舗の販売価格で積算した場合）

c 県内産の需要のみの場合（生産者価格）

（需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれる場合で、工場等の出荷価格で積算した場合）

※ 必ず a~c のいずれか 1 列に入力してください。

※ 生産者価格とは、生産者の出荷時の価格のことをいい、購入者価格（消費者が購入する際に支払う価格）から商業マージン、運輸マージンを差し引いた価格になります。

ウ 消費転換率の値をプルダウンで選択します。

※ 消費転換率とは、消費支出を実収入で除したもので、その値は2次波及効果の算出に影響します。

※ 本シートでは広島市と中国地方の値から選択するようになっています。広島市から離れた場所における波及効果を求める際には、中国地方の値を選択してください。

エ 単位をプルダウンで選択します。

オ 分析事項のメモ欄は、必要に応じ、記入します。

※ メモ欄の内容は、総括表に複写されます。

※ 記入がなくても、計算結果には影響しません。

【図1】「①需要拡大による波及効果シート」の「入力シート」

ア 分析タイトルを入力します。

ウ 消費転換率の値をプルダウンで選択します。

① 需要増加額を該当する産業部門に直接入力

分析タイトル： 県内で県内産の自動車に対する需要が100億円増加した場合の経済波及効果

② 消費転換率の値をリストから選択

選択した値 0.567622

プルダウンで下記のリストから選択

広島市消費転換率	令和元年	0.567622
	平成30年	0.568598
	平成29年	0.641748
	平成29年～令和元年平均	0.591438
中国地方消費転換率	令和元年	0.598051
	平成30年	0.582745
	平成29年	0.638027
	平成29年～令和元年平均	0.607864

※消費転換率=消費支出/実収入(家計調査年齢による)
 ※広島市から離れた場所の波及効果を求める際は、中国地方の値を選択してください。

③ 単位をリストから選択

選択した値 億円

プルダウンで下記のリストから選択

単位調整係数	100
千円	10
百万円	1
十億円	0.1
千億円	0.01

エ 単位をプルダウンで選択します。

④ 分析事項のメモ欄

県内で県内産の自動車に対する需要(売上額)が100億円増加した場合、最終的に県内の産業にどれだけ影響があるか。
 想定：県内産の自動車の売上額が100億円増加
 =県内需要のみ(購入者価格)に100億円を計上
 (○月○日)

オ メモ欄は記入すると総括表に複写されます。

入力シート
入力項目を集約

出力シート
計算セルを集約

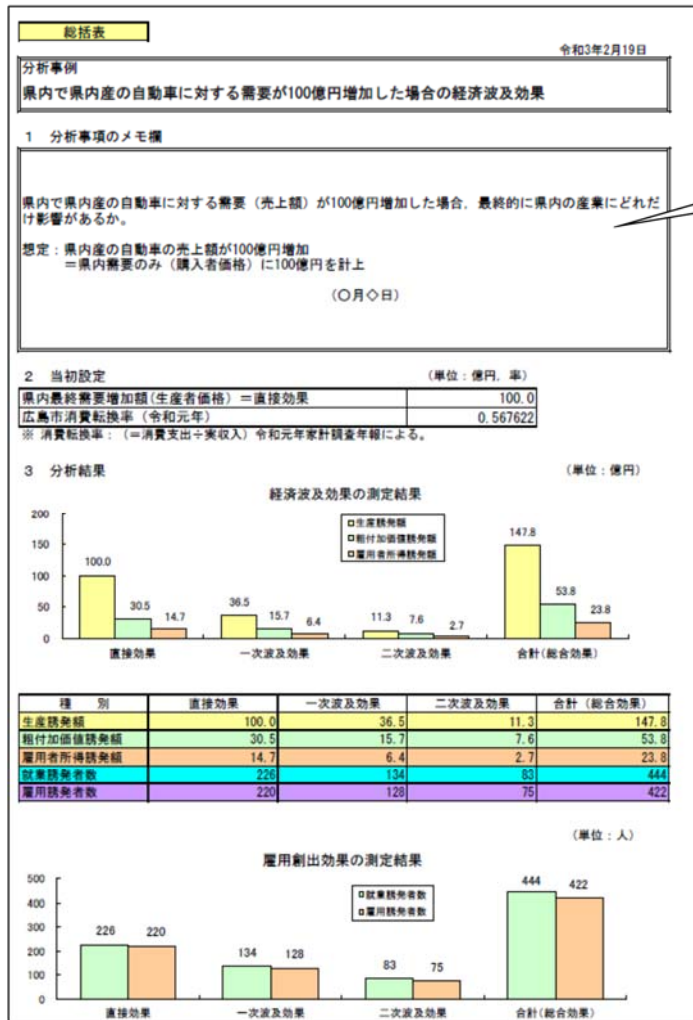
係数シート
数値データのみ

(2) 総括表等出力作業

「総括表シート」に、分析結果の概要が出力されます。

分析結果の詳細は、「フロー図」、「各詳細表（1次効果、2次効果、総合効果）」をご覧ください。

【図2】「①需要拡大による波及効果シート」の「総括表シート」



出力シート内のデータは、全て自動で計算されます。
日付:エクセル関数を利用
分析事例、分析事項のメモ欄、単位、消費転換率:入力シートからリンク表示
結果データ:フロー図のデータをリンク表示
グラフ表示元データ:このシート内の結果データ

シートのサイズなどを変更する必要がある場合は、初期設定では出力シートは全て「校閲」→「シート保護」(パスワード省略)にしていますので、「校閲」→「シート保護の解除」で保護を解除し、適宜修正してください。



シート保護の解除

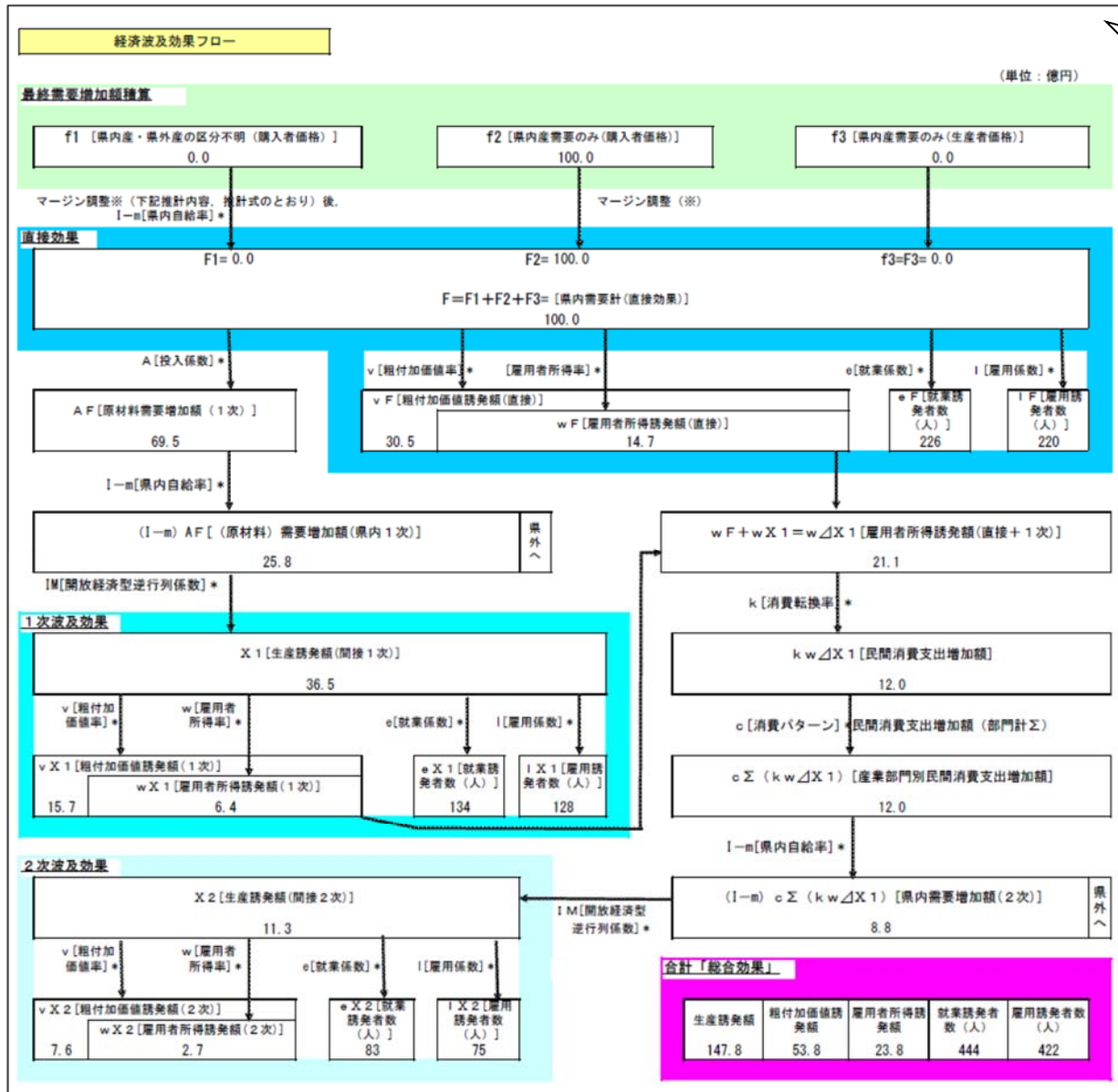
変更可能な情報を指定して、シート内のデータに対する不要な変更を防ぎます。

たとえば、ロックされたセルの編集やドキュメントの書式の変更を防ぐことができます。

パスワードを指定することができます。このパスワードを入力するとシートの保護が解除され、変更が可能になります。

ヘルプを表示するには、F1 キーを押してください。

【図3】「①需要拡大による波及効果シート」の「フロー図」



「総括表」、「フロー図」や「各詳細表 (1次効果, 2次効果, 総合効果)」を印刷し、確認してください。初期設定の印刷サイズは「総括表」と「フロー図」がA4縦1枚、「各詳細表 (1次効果, 2次効果, 総合効果)」がA4横1枚で設定されています。

4 「②企業誘致による波及効果シート」分析作業手順

(1) 入力作業

「入力シート」に必要事項を入力します。(【図4】「②企業誘致による波及効果シート」の「入力シート」参照)

ア 分析タイトルを入力します。

イ 下の赤枠の中に、産業部門ごとの需要増加額を数値で入力します。

入力の際には、次の4パターンの中から選択し、該当する列に入力します。

a 県内産・県外産の区分が不明な場合(購入者価格)

(需要の増加に対して新たに供給される財・サービスが広島県内産か県外産か分からない場合、店舗の販売価格で積算した場合)

b 県内産の需要のみの場合(購入者価格)

(需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれる場合、店舗の販売価格で積算した場合)

c 県内産の需要のみの場合(生産者価格)

(需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれる場合、工場等の出荷価格で積算した場合)

d 操業開始により新たに生産した場合又は生産が増加した場合

※ 必ずa~dのいずれか1列に入力してください。

※ 生産者価格とは、生産者の出荷時の価格のことをいい、購入者価格(消費者が購入する際に支払う価格)から商業マージン、運輸マージンを差し引いた価格になります。

ウ 消費転換率の値をプルダウンで選択します。

※ 消費転換率とは、消費支出を実収入で除したもので、その値は2次波及効果の算出に影響します。

※ 本シートでは広島市と中国地方の値から選択するようになっています。広島市から離れた場所における波及効果を求める際には、中国地方の値を選択してください。

エ 単位をプルダウンで選択します。

オ 分析事項のメモ欄は、必要に応じ、記入します。

※ メモ欄の内容は、総括表に複写されます。

※ 記入がなくても、計算結果には影響しません。

【図4】「②企業誘致による波及効果シート」の「入力シート」

ア 分析タイトルを入力します。

ウ 消費転換率の値をプルダウンで選択します。

イ 需要の増加を次の4パターンから選択し、該当する列(D列, E列, F列, H列のいずれか)に入力します。

エ 単位をプルダウンで選択します。

オ メモ欄は記入すると総括表に複写されます。

② 消費転換率の値をリストから選択

消費した値 0.567622

③ 単位をリストから選択

消費した値 億円

④ 分析事項のメモ欄

電気機械メーカーの工場の立地に伴い、
初期投資：工場建設費100億円、製造機械設備購入費40億円、
機械設備リース5億円、土木設計（建築サービス）5億円
の需要（購入者価格）が発生し、ならびに
新たな生産活動：電気機械生産額100億円が発生する場合の
経済波及効果を試算（〇月〇日）

入力シート 総括表 フロー図 1次効果 2次効果 総合効果 各種係数 投入係数 逆行列(IM) 逆行列(IM外生化)

入力シート 入力項目を集約
出力シート 計算セルを集約
係数シート 数値データのみ

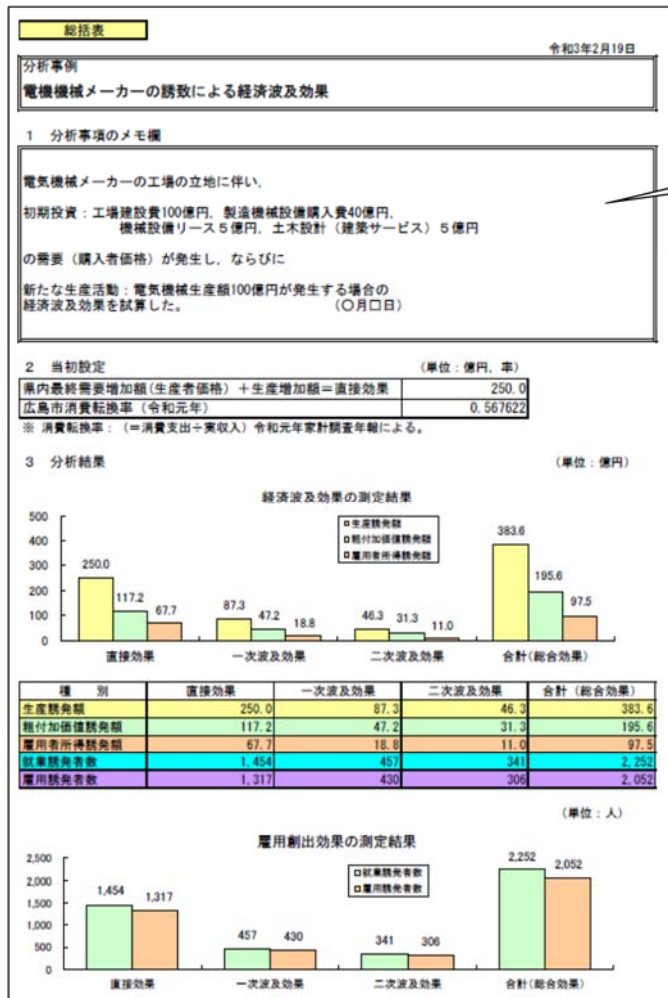
45部門	県内産・県外産の区分不明	県内産の需要のみ (購入者価格)	県内産の需要のみ (生産者価格)	合計	生産増加額又は操業にかかる生産額
01 農林漁業					
06 鉱業					
11 飲食品					
14 繊維製品					
15 衣服・その他の繊維製品					
16 木材・木製品					
17 家具・装飾品					
18 パルプ・紙・板紙・加工紙					
19 印刷・製版・製本					
20 化学製品					
21 石油・石炭製品					
22 プラスチック製品					
23 ゴム製品					
24 金属製品					
25 窯業・土石					
26 鉄鋼					
27 非鉄金属					
28 金属製品					
29 はん用紙					
30 生産用紙					
31 生活用紙					
32 電子部品					
33 電気機械					100.0
34 情報通信					
35 自動車					
36 船舶・航空					
37 その他の輸送					
38 その他の輸送					
39 建設					
40 電力・ガス					
41 水道					
42 廃棄物処理					
43 商業					
44 金融・保険					
45 不動産					
46 運輸・郵便					
47 情報通信					
48 教育・研究					
49 医療・福祉					
50 他に分類されない営利団体					
51 対事業所サービス			10.0		10.0
52 対個人サービス					
53 事務用品					
54 分類不明					
増加額合計	0.0	150.0	0.0	150.0	100.0

(2) 総括表等出力作業

「総括表シート」に、分析結果の概要が出力されます。

分析結果の詳細は、「フロー図」、「各詳細表（1次効果、2次効果、総合効果）」をご覧ください。

【図5】「②企業誘致による波及効果シート」の「総括表シート」



出カシート内のデータは、全て自動で計算されます。
 日付:エクセル関数を利用
 分析事例、分析事項のメモ欄、単位、消費転換率:入力シートからリンク表示
 結果データ:フロー図のデータをリンク表示
 グラフ表示元データ:このシート内の結果データ

シートのサイズなどを変更する必要がある場合は、初期設定では出カシートは全て「校閲」→「シート保護」(パスワード省略)にしていますので、「校閲」→「シート保護の解除」で保護を解除し、適宜修正してください。

校閲 表示 アドイン

コメントの表示/非表示
 すべてのコメントの表示
 インクの表示

シート保護の解除
 ブックの保護と共有
 ブックの保護
 ブックの共有
 範囲の編集を許可
 変更履歴の記録

シート保護の解除

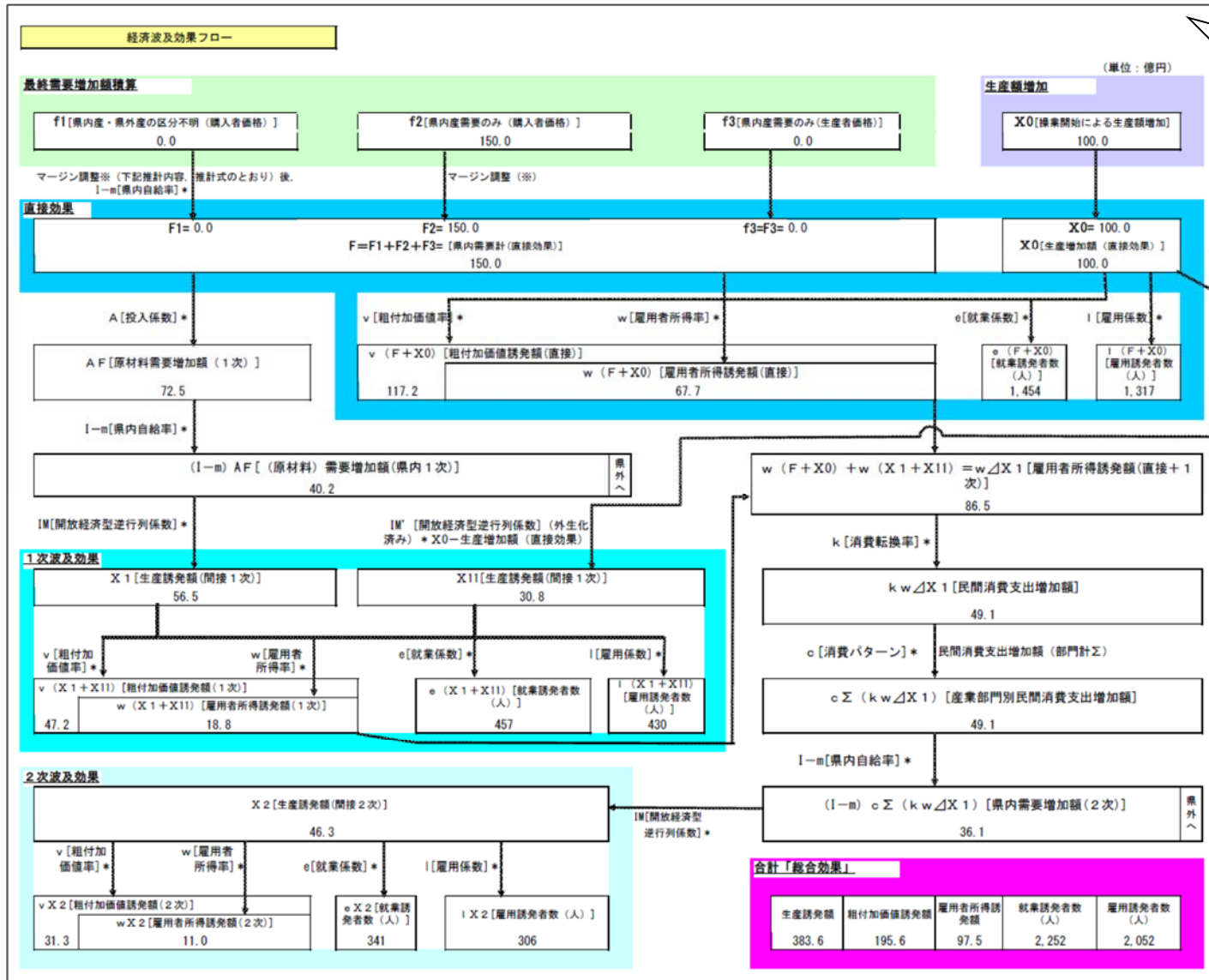
変更可能な情報を指定して、シート内のデータに対する不要な変更を防ぎます。

たとえば、ロックされたセルの編集やドキュメントの書式の変更を防ぐことができます。

パスワードを指定することができます。このパスワードを入力するとシートの保護が解除され、変更が可能になります。

ヘルプを表示するには、F1 キーを押してください。

【図6】「②企業誘致による波及効果シート」の「フロー図」



「総括表」、「フロー図」や「各詳細表(1次効果, 2次効果, 総合効果)」を印刷し、確認してください。初期設定の印刷サイズは「総括表」と「フロー図」がA4縦1枚、「各詳細表(1次効果, 2次効果, 総合効果)」がA4横1枚で設定されています。

5 「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）シート」分析作業手順

(1) 入力作業

「入力シート」に必要事項を入力します。（【図7】「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）シート」の「入力シート」参照）

ア 分析タイトルを入力します。

イ 下の赤枠の中に、産業部門ごとの需要増加額を数値で入力します。

入力の際には、次の3パターンの中から選択し、該当する列に入力します。

a 県内産・県外産の区分が不明な場合（購入者価格）

（需要の増加に対して新たに供給される財・サービスが広島県内産か県外産か分からない場合で、店舗の販売価格で積算した場合）

b 県内産の需要のみの場合（購入者価格）

（需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれる場合で、店舗の販売価格で積算した場合）

c 県内産の需要のみの場合（生産者価格）

（需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれ、かつ工場等の出荷価格で積算した場合）

※ 必ず a～c のいずれか 1 列に入力してください。

※ 生産者価格とは、生産者の出荷時の価格のことをいい、購入者価格（消費者が購入する際に支払う価格）から商業マージン、運輸マージンを差し引いた価格になります。

ウ 消費転換率の値をプルダウンで選択します。

※ 消費転換率とは、消費支出を実収入で除したもので、その値は2次波及効果の算出に影響します。

※ 本シートでは広島市と中国地方の値から選択するようになっています。広島市から離れた場所における波及効果を求める際には、中国地方の値を選択してください。

エ 単位をプルダウンで選択します。

オ 分析事項のメモ欄は、必要に応じ、記入します。

※ メモ欄の内容は、総括表に複写されます。

※ 記入がなくても、計算結果には影響されません。

【図7】「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）シート」の「入力シート」

ア 分析タイトルを入力します。

カ ここをクリックすると、「観光支出消費額推計シート」に移動します。

ウ 消費転換率の値をプルダウンで選択します。

エ 単位をプルダウンで選択します。

オ メモ欄は記入すると総括表に複写されます。

イ 需要の増加を次の3パターンから選択し、該当する列(D列, E列, F列のいずれか)に入力します。

a 県内産・県外産の区分が不明な場合(購入者価格) …D列に入力
(需要の増加に対して新たに供給される財・サービスが広島県内産か県外産か分からない場合)

b 県内産の需要のみ(購入者価格) …E列に入力
(需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれる場合)

c 県内産の需要のみ(生産者価格) …F列に入力
(需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれる場合で、かつ生産者価格が分かる場合)

※産業分類別の観光消費額の把握が困難な場合は、「観光支出消費額推計シート」により分割します。

45部門	県内産・県外産の区分不明 (購入者価格)	県内産の需要のみ(購入者 価格)	県内産の需要のみ(生産者 価格)	品目別(産業部門別の必要額の把握が困難な場合は、 観光消費支出推計シートを参照してください。)	増加額合計	増加額占計(生産者価格) = 直接効果	単位: 百万円
01 農林漁業				野菜・鮮魚(土産)、観光農園入場料			
06 鉱業							
11 飲食料品		430.0		弁当・飲料・菓子・干物等、酒(土産)	430.0	277.5	
14 繊維製品				布製品(土産)			
15 衣服・その他の繊維製品		20.0		衣料品(土産)	20.0	9.8	
16 木材・木製品				木製小物(土産)			
17 家具・装飾品				家具・装飾品(土産)			
18 パルプ・紙・紙類・加工紙				和紙(土産)			
19 印刷・製本・製本							
20 化学製品				医薬品・化粧品、フィルム(土産)			
21 石油・石炭製品			400.0	ガソリン・軽油代	400.0	313.0	
22 プラスチック製品							
23 ゴム製品							
24 なめし革・革製品・毛皮				靴・鞆(土産)			
25 窯業・土石製品				陶器、ガラス製品等(土産)			
増加額合計	0.0	3,500.0	0.0	-	3,500.0	3,500.0	

消費転換率: 0.567622

単位: 百万円

分析事項のメモ欄

想定1: のべ参加者41万人 消費支出25億円(県内産業系・購入者価格)
うち、宿泊費1万人 平均消費額5万円
宿泊費2.5万円、飲食1.5万円、交通費5千円、
土産物(菓子)3千円、(衣類)2千円
日帰り客40万人 平均消費額5千円
飲食2千円、交通費+駐車料金1千円、
ガソリン代1千円、
土産物(菓子)1千円

想定2: イ

入力シート
入力項目を集約

出カシート
計算セルを集約

係数シート
数値データのみ

カ 観光消費支出額の推計

観光消費額について産業部門別の需要額の把握が困難な場合、「観光支出消費額推計シート」を利用し、全国平均値に基づく按分・積上げ手法により産業部門別の需要額を推計することができます。【図8】「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）シート」の「観光消費額推計シート」参照）

（ア）入力シート

次の①から③のいずれか一つに入力します。

- ① 消費支出額の内訳（交通費、宿泊費など）が把握できる場合
消費支出額を宿泊客、日帰り客ごとに、内訳（交通費、宿泊費など）を入力します。（単位：百万円）
- ② 消費支出額の合計額のみ把握できる場合
消費支出額の合計額を宿泊客、日帰り客ごとに入力します。（単位：百万円）
※ 消費支出額は1人当たりの金額ではなく、人数を掛けた合計額を入力してください。
- ③ 来場者数のみ把握できる場合
来場者数（人数）を宿泊客、日帰り客ごとに入力します。（単位：人）

（イ）出力シート

出力シートには、入力シートで入力した数値から産業連関表の45部門に対応した消費支出額が出力されます。

※ 45部門の消費支出額は、出力シートの赤枠内（D35セル～D79セル）に表示されます。

（ウ）出力された消費支出額を、観光客増加による波及効果（イベント波及効果）シート「入力シート」へ貼り付け

出力シートの赤枠内（D35セル～D79セル）を選択してコピーし、【図7】「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）シート」の「入力シート」内の最終需要増加額（D列～F列のいずれか）へ貼り付ける。

※ 需要の増加に対して新たに供給される財・サービスが、

- | | |
|---------------------------|------------------|
| a 県内産・県外産の区分が不明な場合（購入者価格） | → 「入力シート」D列へ貼り付け |
| b 県内産の需要のみの場合（購入者価格） | → 「入力シート」E列へ貼り付け |
| c 県内産の需要のみの場合（生産者価格） | → 「入力シート」F列へ貼り付け |

【図8】「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）シート」の「観光消費額推計シート」

1 産業部門別観光消費支出額の推計

観光消費額について産業部門別の需要額の把握が困難な場合、次のシートを用いて、全国平均値に基づく按分・横上げ手法により需要額を推計することができます。出力された産業部門別の計算結果をコピーして「観光客増加による波及効果（イベント波及効果）」の入力シートに貼り付けて使用してください。

- ・ イベント来場者の県内消費支出は、全国国内旅行の旅行1人1回当たり消費額を用いて推計します。
- ・ 来場者の消費支出額は来場の旅行中の費用を対象とし、旅行前後の費用等を含まないものとします。
- ・ 宿泊者は全て県外者とみなし、交通費については全額の1/2として計算します。また、日帰り者は全て県内者として交通費の全額を計上します。

○入力シート ①から④のいずれか一つに入力してください。（赤枠内に数値を入力）

※消費支出額は1人当たりの金額ではなく、人数を掛けた合計額を入力してください。

①消費支出額の内訳（交通費、宿泊費など）が把握できる場合 … 消費支出額を内訳ごとに入力 （百万円）

	交通費	宿泊費	飲食費	土産代・買い物代等	入場料・施設利用料	その他	消費支出額合計
宿泊客							0
日帰り客							0

②消費支出額の合計額のみ把握できる場合 … 消費支出額の合計額を入力 （百万円）

	消費支出額合計
宿泊客	
日帰り客	

※消費支出額は1人当たりの金額ではなく、人数を掛けた合計額を入力してください。

③来場者数のみ把握できる場合 … 来場者数（人数）を入力 （人）

	来場者数
宿泊客	
日帰り客	

1 数値を入力します。
金額（消費支出額）、人数（来場者数）の把握の可否により、
①消費支出額の内訳が把握できる場合、
②消費支出額の合計額のみ把握できる場合、
③来場者数のみ把握できる場合、
の3つのパターンから選択し、入力します。
（いずれか一つに入力します。）

○出力シート

・赤枠内（D35～D79セル）をコピーして、入力シートの最終需要増加額欄（D～F列のいずれか）に貼り付けて利用してください。

産業連関表 部門分類(45部門)	消費支出額 （百万円）
01:農林漁業	0.0
02:鉱業	0.0
03:製造業	0.0
04:電気・ガス・熱供給・水道業	0.0
05:建設業	0.0
06:卸売・小売業	0.0
07:飲食業	0.0
08:宿泊業・飲食サービス業	0.0
09:運輸業・郵便業	0.0
10:情報・通信業	0.0
11:金融業・保険業	0.0
12:不動産業・物品賃貸業	0.0
13:学術・研究・開発業	0.0
14:芸術・文化・スポーツ・娯楽業	0.0
15:医療・福祉業	0.0
16:教育業	0.0
17:公共・行政・国防業	0.0
18:業種不明	0.0
19:その他	0.0
20:業種不明	0.0
21:業種不明	0.0
22:業種不明	0.0
23:業種不明	0.0

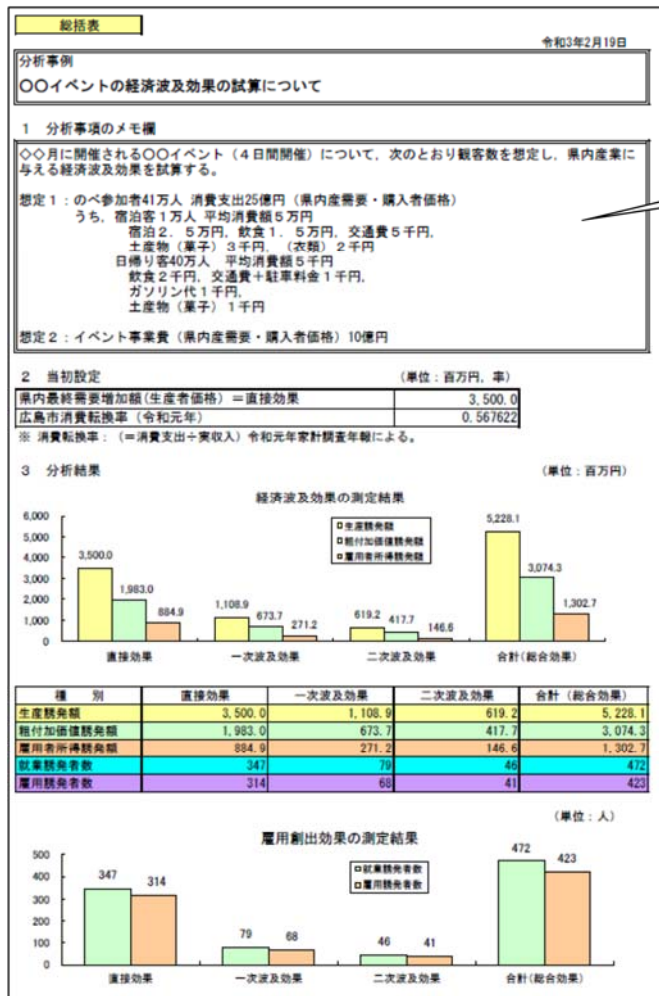
2 出力シートは、入力した数値から産業連関表の45部門に対応した消費支出額が表示されますので、赤枠内（D35～D79セル）を範囲指定して選択しコピー、入力シートへの貼付け（D列、E列、F列のいずれか）を行ってください。

(2) 総括表等出力作業

「総括表シート」に、分析結果の概要が出力されます。

分析結果の詳細は、「フロー図」、「各詳細表（1次効果、2次効果、総合効果）」をご覧ください。

【図9】「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）シート」の「総括表シート」



出力シート内のデータは、全て自動で計算されます。
日付：エクセル関数を利用
分析事例、分析事項のメモ欄、単位、消費転換率：入力シートからリンク表示
結果データ：フロー図のデータをリンク表示
グラフ表示元データ：このシート内の結果データ

シートのサイズなどを変更する必要がある場合は、初期設定では出力シートは全て「校閲」→「シート保護」(パスワード省略)にしていますので、「校閲」→「シート保護の解除」で保護を解除し、適宜修正してください。

校閲 表示 アドイン

コメントの表示/非表示
すべてのコメントの表示
リンクの表示

シート保護の解除
ブックの保護
ブックの共有
範囲の編集を許可
変更履歴の記録

シート保護の解除

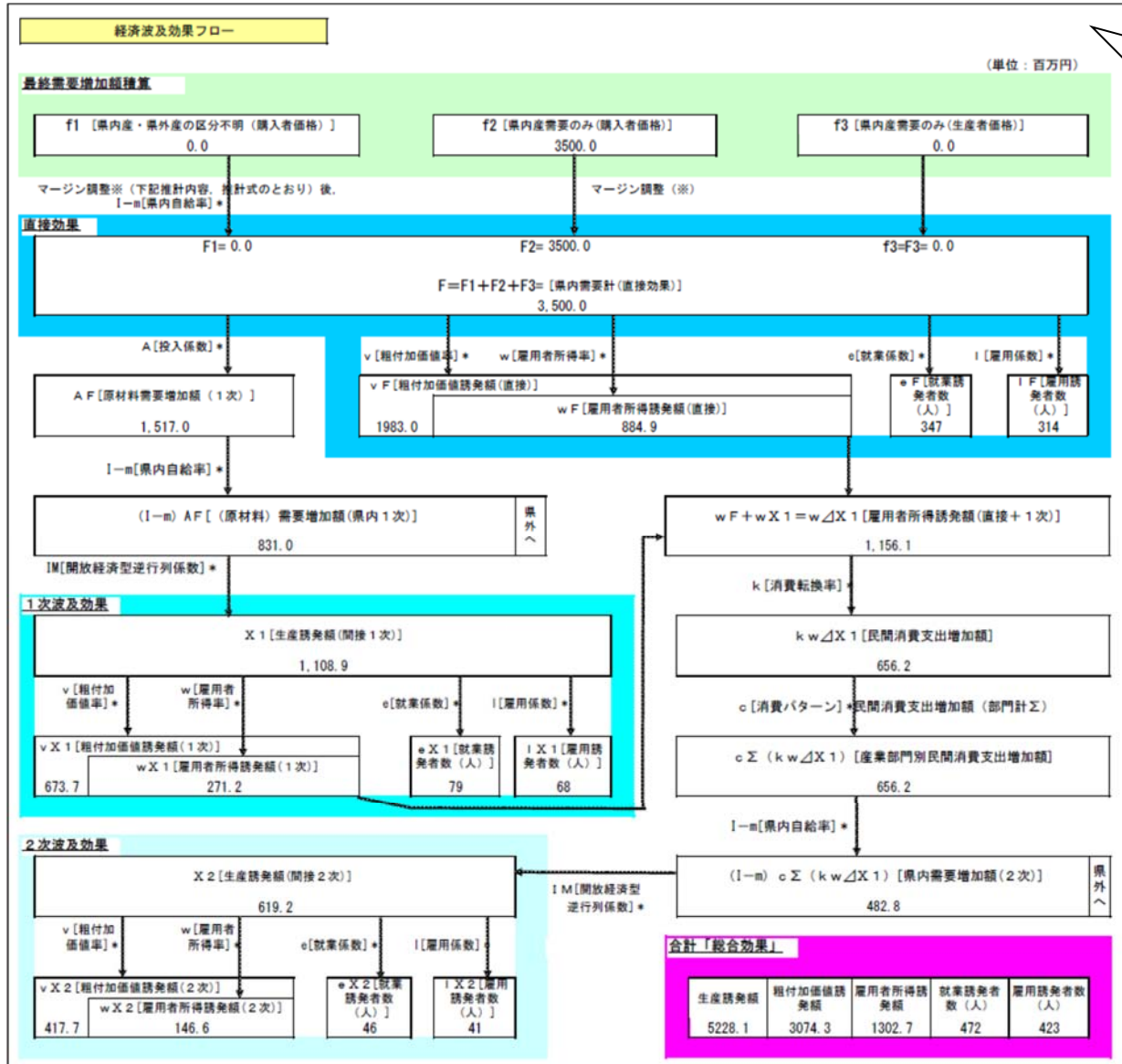
変更可能な情報を指定して、シート内のデータに対する不要な変更を防ぎます。

たとえば、ロックされたセルの編集やドキュメントの書式の変更を防ぐことができます。

パスワードを指定することができます。このパスワードを入力するとシートの保護が解除され、変更が可能になります。

ヘルプを表示するには、F1 キーを押してください。

【図 10】「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）シート」の「フロー図」



「総括表」、「フロー図」や「各詳細表(1次効果, 2次効果, 総合効果)」を印刷し、確認してください。初期設定の印刷サイズは「総括表」と「フロー図」がA4縦1枚、「各詳細表(1次効果, 2次効果, 総合効果)」がA4横1枚で設定されています。

6 「④大規模建設プロジェクトによる波及効果シート」分析作業手順

(1) 入力作業

「入力シート」に必要事項を入力します。(【図 11】「④大規模建設プロジェクトによる波及効果シート」の「入力シート」参照)

ア 分析タイトルを入力します。

イ 最終需要増加額欄を入力します。事業分類, 最終需要増加額内訳, オプションから構成されています。

事業分類はプルダウンから選択します。各事業分類の種類・説明は下の事業分類表を参照してください。

最終需要増加額は金額を「1. 工事費(土木・建築)」、「2. 調査・設計費」、「3. 事務費(公共事業の場合)」にそれぞれ入力します。

「2. 調査・設計費」に県外需要が含まれる場合(例: 県外の業者に設計を委託する場合は、オプションを「有」にします。

※ 事業分類は、建設部門を工事種別などにより70種類に分類しています。分類内容は、平成27年建設部門分析用産業連関表(国土交通省)の一般分類建設部門投入係数表(70部門)に基づいています。

ウ 消費転換率の値をプルダウンで選択します。

※ 消費転換率とは、消費支出を実収入で除したもので、その値は2次波及効果の算出に影響します。

※ 本シートでは広島市と中国地方の値から選択するようになっています。広島市から離れた場所における波及効果を求める際には、中国地方の値を選択してください。

エ 単位をプルダウンで選択します。

オ 分析事項のメモ欄は、必要に応じ、記入します。

※ メモ欄の内容は、総括表に複写されます。

※ 記入がなくても、計算結果には影響されません。

【図 11】「④大規模建設プロジェクトによる波及効果」の「入力シート」

平成27年広島県産業連関表経済波及効果分析ツール
 ☆入力シート『①～④の各欄の赤枠白地の箇所に、文字or数字を入力してください。』

ア 分析タイトルを入力します。

④大規模建設プロジェクトによる波及効果シート

ウ 消費転換率の値をプルダウンで選択します。

消費転換率の値をリストから選択

消費した値 0.567622

プルダウンで下記のリストから選択

広島市消費転換率	令和元年	0.567622
	平成30年	0.568998
	平成29年～令和元年平均	0.641746
中国地方消費転換率	令和元年	0.596051
	平成30年	0.592745
	平成29年	0.638027
平成29年～令和元年平均		0.607964

※ 消費転換率=消費支出/実収入(※計調査年報による。)
 ※ 広島市から離れた場所の波及効果を求める際は、中国地方の値を選択してください。

⑤ 単位をリストから選択

消費した値 億円

プルダウンで下記のリストから選択

単位調整係数	億円	100
	千万円	10
100	万円	1

エ 単位をプルダウンで選択します。

⑥ 分析事項のメモ欄

道路改良事業の経済波及効果を分析した。

区間：A市B町～C市D町までの〇〇km区間における工事

〇年〇月〇日工事

オ メモ欄は記入すると総括表に複写されます。

事業分類表

No.	事業の種類	分類説明
1	建設	部門平均
2	建築	建築平均
3	住宅建築	住宅建築平均
4	住宅建築(木造)	住宅建築(木造)平均
5	木造在来住宅	住宅建築(木造)：木造在来住宅
6	木造産業住宅	住宅建築(木造)：木造産業住宅
7	住宅建築	
8	SR住宅	
9	R住宅	
10	R住宅	
11	R住宅	
12	S住宅	
13	S住宅	
14	S住宅	
15	C住宅	
16	非住宅建築	
17	非住宅建築	
18	木造工場	
19	木造事務所	
20	非住宅建築	
21	SR工場	
22	SR事務所	
23	R工場	
24	R学校	
25	R事務所	
26	S工場	
27	S事務所	
28	C住宅	
29	土木	
30	公共事業	
31	道路関係公共事業	
32	道路	
33	一般道路	
34	道路改良	
35	道路舗装	
36	道路橋梁	
37	道路橋梁	
38	道路橋梁	
39	道路橋梁	
40	道路橋梁	
41	有料道路	
42	高速有料道路	
43	東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)	
44	首都高速道路(株)	

最終需要増加額入力 タイトル：道路改良事業

事業分類	最終需要増加額内訳			オプション	増加額合計
No.	1. 工事費(土木・建築)	2. 調査・設計費	3. 事務費(公共事業の場合)	2の内の県外需要	
34	道路改良	50.0	10.0	有	60.0

最終需要増加額欄を入力します。事業分類、最終需要増加額内訳、オプションから構成されています。

事業分類はプルダウンから選択します。事業分類の種類・説明は下の事業分類表を参照してください。

最終需要増加額は金額を「1. 工事費(土木・建築)」、「2. 調査・設計費」、「3. 事務費(公共事業の場合)」にそれぞれ入力します。

「2. 調査・設計費」に県外需要が含まれる場合(例：県外の業者に設計を委託する場合)は、オプションを「有」にします。

入力シート 総括表 フロー図 1次効果 2次効果 総合効果 各種係数 投入係数 逆行列(IM) 建設係数

入力シート
入力項目を集約

出力シート
計算セルを集約

係数シート
数値データのみ

(2) 総括表等出力作業

「総括表シート」に、分析結果の概要が出力されます。

分析結果の詳細は、「フロー図」、「各詳細表（1次効果、2次効果、総合効果）」をご覧ください。

【図12】「④大規模建設プロジェクトによる波及効果」の「総括表シート」

総括表 令和3年2月19日

分析事例
道路改良事業

1 分析事項のメモ欄

道路改良事業の経済波及効果を分析した。
区間：A市B町～C市D町までの〇〇km区間における工事
〇年〇月着工事業

2 当初設定 (単位：億円、率)

県内最終需要増加額(生産者価格)＝直接効果	59.3
広島市消費転換率(令和元年)	0.567622

※消費転換率：(＝消費支出÷実収入) 令和元年家計調査年報による。

3 分析結果 (単位：億円)

経済波及効果の測定結果

種別	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	合計(総合効果)
生産効果額	59.3	23.6	13.5	96.4
付加価値効果額	31.1	13.7	9.1	54.0
雇用者所得効果額	19.6	5.7	3.2	28.5
就業効果数	524	142	100	766
雇用効果数	458	133	89	680

(単位：人)

雇用創出効果の測定結果

出力シート内のデータは、全て自動で計算されます。
日付:エクセル関数を利用
分析事例、分析事項のメモ欄、単位、消費転換率:入力シートからリンク表示
結果データ:フロー図のデータをリンク表示
グラフ表示元データ:このシート内の結果データ

シートのサイズなどを変更する必要がある場合は、初期設定では出力シートは全て「校閲」→「シート保護」(パスワード省略)にしていますので、「校閲」→「シート保護の解除」で保護を解除し、適宜修正してください。

校閲 表示 アドイン

コメントの表示/非表示
すべてのコメントの表示
リンクの表示

シート保護の解除
ブックの保護
ブックの共有
範囲の編集を許可
変更履歴の記録

シート保護の解除

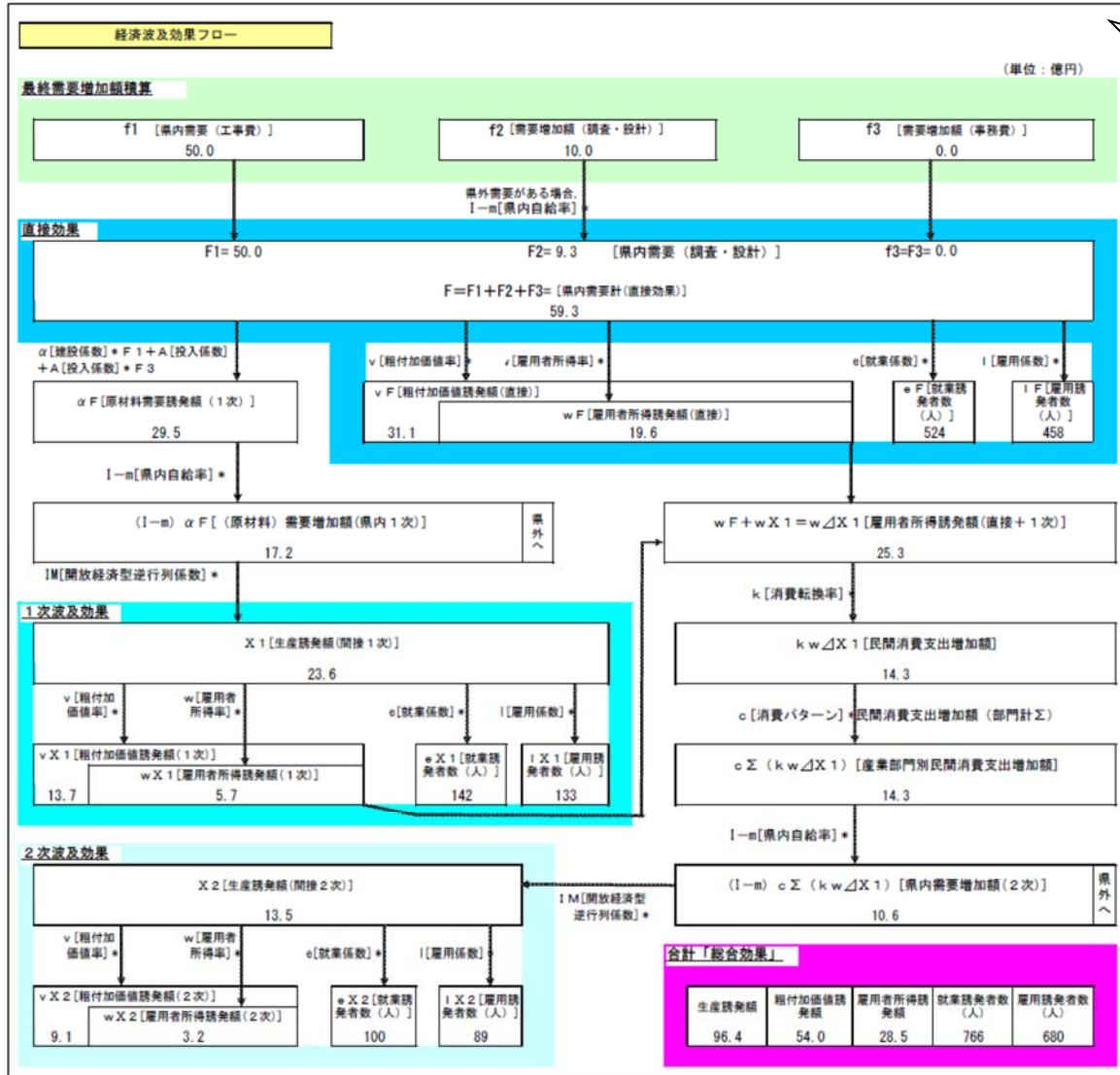
変更可能な情報を指定して、シート内のデータに対する不要な変更を防ぎます。

たとえば、ロックされたセルの編集やドキュメントの書式の変更を防ぐことができます。

パスワードを指定することができます。このパスワードを入力するとシートの保護が解除され、変更が可能になります。

ヘルプを表示するには、F1キーを押してください。

【図 13】「④大規模建設プロジェクトによる波及効果」の「フロー図」



「総括表」、「フロー図」や「各詳細表 (1次効果, 2次効果, 総合効果)」を印刷し、確認してください。初期設定の印刷サイズは「総括表」と「フロー図」がA4縦1枚、「各詳細表 (1次効果, 2次効果, 総合効果)」がA4横1枚で設定されています。